

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	免疫チェックポイント阻害薬時代における高リスク腎細胞癌に対する周術期治療に関する後ろ向き観察研究
当院の研究責任者 (所属)	琉球大学大学院医学研究科 腎泌尿器外科 教授 猪口 淳一
他の研究機関および 各機関の研究代表者	新潟大学医歯科総合研究所 泌尿器科学 教授 大澤 崇宏
本研究の目的	この研究により、腎細胞癌（特に再発リスクの高い症例）に対する手術前後の治療の実際の状況や治療成績が明らかになり、将来のより良い治療法の確立につながることを期待されます。
研究実施期間	倫理審査委員会承認日から 2028 年 3 月 31 日まで
調査データ(該当期間)	2018 年 8 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	●対象となる患者さま 2018 年 8 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までに下大静脈腫瘍塞栓があり、遠隔転移のない腎細胞癌と診断された患者さん（コホート A）。または、2022 年 8 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までに、根治的腎摘除術を施行され再発リスクが高い腎細胞癌と診断された患者さん（コホート B）。 ●利用する試料・情報 本研究は多施設共同の後ろ向き観察研究です。各参加施設の医療記録（カルテ）に保存されたデータ（病歴、手術記録、病理結果、画像検査結果、治療記録）などの既存の医療情報をもとに研究を行います。治療成績や、使用した薬剤の副作用、予後予測因子など調べます。患者さんに対して新たに追加検査や治療を行うことはありません。また研究に同意いただけても患者さんへの不利益はありません。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	各施設で診療録から必要な情報を収集し、匿名化したうえで研究代表機関（新潟大学）に集約して解析します。
試料・情報の二次利用	研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合があります。

個人情報の取り扱い	名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は、研究代表機関である新潟大学および参加各施設における講座研究費・運営費を用いて実施します。 本研究の実施にあたり、特定の企業からの資金提供は受けません。
お問い合わせ先	琉球大学大学院医学研究科 腎泌尿器外科学講座 電話：098-894-1410 担当者：與那嶺智子、仲西昌太郎
備考	